

市民活動・虎の巻

研究テーマ 『社会を変える市民団体の作り方』

市民活動を始めたいと思ったとき、既に活動している団体の中にやりたいことや目的が合致する団体がないのであれば自ら団体を立ち上げるのも一つの手。団体を立ち上げる際、ポイントを押さえるだけで立ち上げ後の活動のしやすさや、目的を遂行するチカラはグッと上がります。3ステップに分けられる「団体立ち上げ期」のそれぞれで、今すべきことをチェックしましょう。

1 「活動を興す」

パッションからミッションへ！
以下の点について紙に書いて整理しよう。

- 解決したい課題、テーマ、気になること
- 解決後の目指す姿
- 目指す姿の実現のために何が求められるか(制度、条件、背景等)
- 団体に実施しようとしている事業

2 「組織を組み立てる」

組織として安定的に活動に取り組めるように、以下の3点を整理して組織の骨組みを組もう。

- 事業計画
やりたいことの優先順位を決め、年間計画を立ててみる。
- 会則、団体規則
団体運営のルール、決まり事をまとめる。
- 資金計画
事業を行うにはおカネはいくらかかるか、どう賄うかを計画する。

3 「想いを広げる」

- 活動を知ってもらう
広報宣伝をして活動を多くの人に知ってもらいましょう。SNS/協働センターの団体登録/チラシ配布/イベント開催など。
- 活動に参画してもらう
一緒に活動を盛り上げてくれるメンバーを募ろう。まずはイベントのお手伝いなどから、共感しあえる人をコアメンバーに誘って徐々に関わる人を増やしていく。

市民団体からのコメント

Nagaokaみんなの子育てラボ 代表 赤川さん

「子育てがもっと楽しくもっと幸せに」と同じ想いを持ったメンバーでスタートしました。はじめは楽しく何かできたら良いと思っていましたが、活動が広がるに連れて、団体としての責任や役割を感じるようになりました。規則・報告書・会計書類を作る事、事業計画を立てる事は、団体としての信用性やPR・仲間集めには必要な事だと感じています。



we can do it!

私たちは **〇〇ができます!**

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん！
困りごと、協力してほしいことはありませんか？
私たちが力になりますよ!

**「虫亀地域活性化・文化保存会」は、
山古志の芸能を披露できます!**

山古志の虫亀地域住民からなる団体です。生まれ育った虫亀を活気づけたい、伝統文化を継承したいとの気持ちでイベント企画や地域整備の活動をしています。私たちは山古志に伝わる盆踊り唄や太鼓の演奏ができます。

協力してほしいこと 山古志で開催するイベントの企画運営サポートができる方を募集中です。

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!

information

センターからのお知らせ

まずは相談してみよう!
市民活動推進事業補助金

相談は随時受付

市民活動団体などが実施する公益性のある活動や、イベント経費の一部を補助する「長岡市市民活動推進事業補助金」。ただいま申請受付中です!企画や申請内容のご相談には随時対応いたします。やってみたい企画をお持ちの方は、構想段階でも大丈夫ですので、まずは協働センターへご相談ください。

【申請方法】 事業の実施月に合わせ、下記締切日までに申請書を協働センターへ提出してください。

7月～の事業	9月～の事業	11月～の事業	1月～の事業
5/31 締切	7/31 締切	9/30 締切	11/30 締切

補助金額	20万円まで	20万円を超える部分
補助対象経費について	全額	80%

※申請額が予算に達し次第受付を終了します。

協働センター Q&A

よく寄せられるご相談

Q.活動を始めようと思うのですが、まずはNPO法人を設立した方がいいですか?
A.NPO法人は活動しやすくなる面もありますが、一方で設立も、継続も、解散するのも時間と手間がかかります。まずは市民団体として活動してみ、必要に迫られてからNPO法人化を検討することをお勧めします。

Q.会則ではどんな項目を定めておけばいいですか?
A.名称、活動目的、事業内容、運営主体、入会方法、退会方法、役員構成などを定めます。後々トラブルとならないように協議を重ねたうえで内容を決めましょう。フォーマットもあるので協働センターまでお問い合わせください。

らこらマ

Racotte vol.77
発行●ながおか市民協働センター

2019
5
FREE

インタビュー interview

地元愛にあふれた小国の若きホープ

桑原瑠奈さん



縁を結ぶCafeマスター

青柳忠浩さん



毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ

FMながおか 80.7MHz
ながおかの市民活動紹介番組
放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト
コライト、見ないと!

https://nkyod.org
協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこらマのバックナンバーも閲覧できます。

- 活動PickUp!
 - ものづくりえんにち
 - アメリカンフェスティバル実行委員会
 - 花ももの郷栃尾
 - 御菓子司 龍昇堂
- 市民活動・虎の巻
 - 『社会を変える市民団体の作り方』
- 私たちは〇〇ができます!
 - 虫亀地域活性化・文化保存会

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

活動の根っこ
小国のために
私ができること
桑原 瑠奈

桑原 瑠奈さん(23歳)
ビューティアドバイザー
1995年旧小国町生まれ。姉の影響で美容に興味を持ち、介護職を経て美容界に転職。昨年から小国のイベントに出る機会も増えている。



大好きな小国に恩返し。 人を癒し地域全体を豊かに！

エステや化粧品の販売を行うビューティアドバイザーとして働く桑原瑠奈さんは、物心ついた頃から小国が大好き。ご両親が共働きで、祖母や地域のお年寄りに面倒を見てもらうことも多く、地域の温かみを感じて育ったことがその要因だと振り返ります。地域の方々に愛されて育った桑原さんは、地域の方々に恩返ししがたかったため、始めは介護の道を選びましたが、自分のペースで一人ひとりと向き合いながら、心と体のケアができる仕事をしたいと考えるように。そこで一念発起して美容の道に転職。「転職後、地域の方に『美容のお店を小国に出したらいいじゃない。お店ができたら行くよ』と言われ、お世話になった皆さんが元気なうちに、自分のお店を開き恩返しすることが目標になりました」。

桑原さんは仕事としてだけでなく、小国内で

の地域活動に参加する機会も増えており、地域の祭りでの出店や、福祉施設でのボランティア活動としてマッサージをしています。「認知症の方でも癒しの時間は記憶に残るようで、私にできることで心と体のケアが出来ているのを実感しています。この仕事を選んで良かったなと思います」。また、小国で活動してみても新たな発見もありました。「イベントには予想以上にお子さんも多く来てくれます。子どもたちが小国で働く選択肢が広がるきっかけになったらいいと思うようになりました」。

将来的には多機能な癒し処をつくるのが夢だと話す桑原さん。「小国の人たちの得意なことを集めた地域のお茶の間の場所が出来たらいいなと思っています。また、小国は何もないよねと言われることも多いので、自分にできることで豊かにしていきたいですね」。



●小国でのイベントは普段の仕事とはまた違った経験ができる貴重な機会となっています。

地域にないなら自分でつくろう！ 縁介上手なマスターが育む交流の場

越路にあるまちなかの駅、森の仲間「千の森」。木々に囲まれた古民家を改装したこの場所には、カフェスペースと様々な活動で使える鏡張りのホールや和室、ミニ図書館などがあります。ここを訪れる人からマスターと呼ばれ親しまれているのが代表の青柳忠浩さんです。太極拳やヨガなど現在10あまりの教室がここを会場に開催されており、青柳さん自らも参加者として楽しんでいます。

子どもから年配の方まで幅広い年代の人が集う千の森は、青柳さんの想いが込められた場です。「家庭でも社会全体でも世代間交流の機会が少なくなる中で、立ち場や性別、年齢に捉われない場に必要性を感じてきました。そこで、空手や書道といった伝統文化に携わる人や、演奏者やクラフト作家などを先生にして人が集うことで新たな出会いが生まれる

場をつくろうと思ったんです。そこで、気軽に集えるカフェスペースを併設した交流拠点を構想していた時、好条件の空き家と巡り合い、長年勤務してきた仕事を51歳の時に退職。家族や周囲の協力を得ながら、自らの手で想いを形にすべく一歩踏み出しました。

人と関わり、楽しむことが好きだと話す青柳さんの得意技は仲人役。千の森をはじめからの7年間、マスターとして訪れた人たちをつないでいます。仕事体験で通っていた学生が千の森でフルート教室と出会い、発表会を開催するに至ったそう。「出会いは可能性でいっぱい。新たな世界と出会うきっかけになればいいですね」。

さらに還暦を目前にし、「これから自分自身を最大に表現できるステージ！顔晴ります！」とこれからは熱く語る青柳さん。今後も楽しみに長岡のホットスポットです。



活動の根っこ
縁で始まる
新たな展開
青柳忠浩

青柳 忠浩さん(59歳)
交流スペース店主
1960年旧越路町生まれ。進学を機に上京し、教員を2年経験した後、Uターン。長岡市役所を51歳まで勤め退職。同年千の森をオープン。



●千の森を拠点として稽古する民謡すみれ会に自らも所属。興味のあることには夢中になってチャレンジしている青柳さんです。

活動PickUp!

ものづくりえんにち

未来の職人誕生のきっかけづくり

長岡



「ものづくりえんにち」は、長岡市で製造業を営む3社が集まった団体です。縁日の夜店のように、ワクワクしながらワークショップに参加してもらえるようにネーミングしました。各社が取り扱っている素材の「アルミ」「木」「アクリル」を用いて、オリジナル小物を手作りすることで、子ども達がものづくりに興味を持ち、「ものづくりのまち長岡」が続いて行くことを願って活動しています。

花ももの郷 栃尾

みんなで桃色に飾るふるさとの景色

栃尾



栃尾地域の栄町「花ももの郷 栃尾」は4月になると鮮やかなピンク色の「花もも」の花が咲き誇り多くの人の心を和ませています。1年を通し花ももや山野草の管理、山道の整備に汗を流しているのが同地区有志のメンバーです。地域を盛り上げようと活動を開始して15年目となりました。地元の栃尾東小学校の卒業記念植樹も大事な活動のひとつ。故郷の景観づくりを通し交流を深めています。

アメリカンフェスティバル実行委員会

気軽に楽しくアメリカに触れる機会を提供

長岡



アメリカのモノ・コトが大好きなメンバーが集まり、アメリカ文化を五感で楽しめるイベントを2011年から毎年4月に開催しています。長岡市の姉妹都市であるフォートワースはアメリカにあります。長岡にとって遠くて近い存在のアメリカに気軽に触れる機会を提供することで、元気と活気があふれる長岡にしたいです。これからも、長岡とアメリカとの文化交流・経済交流活動をしていきます。

御菓子司 龍昇堂

子どもたちに幸せを届ける菓子店

川口



川口地域で3代続く菓子店龍昇堂は、川口地域で障害をもつ子どもたちの放課後支援を行うNPO法人春よこいにお菓子をプレゼントしています。もともと子どもたちと触れ合う機会がほしくて、ボランティアスタッフを考えましたが、お店との時間が合わないため、無理せずできることで応援したいと思い、始めました。お菓子を食べた子どもたちは大変喜んでくれているので、私たちも嬉しいです。

みんなの声

投稿テーマ 「これも協働!?」暮らしの中で感じた人とのつながり
投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

投稿
随時募集中

投稿者
ロミーさん

投稿者
ロビンソンさん

最近主人の帰りが早く、娘と3人で夕飯の食卓を囲む機会が増えました。学校の部活でマネージャーをしている娘の発案で、部内のミーティングを始め活発なコミュニケーションを交わすようになったそうです。「協働だなあ」と思う反面、家庭内でも協働していこうと思います。

子どものころ、友達と一緒にバレンタインチョコを作りました。チョコケーキとタルトをそれぞれ作ってセットでプレゼントしました。一石二鳥でちょこっと豪華になってラッキー！これも協働???



QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口には設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。